

73 猛暑と交通事故

■ 大事故の背景に「一瞬の居眠り」

猛暑に「もう、うんざり」という方が多いのではないのでしょうか。昨年はこの猛暑で、交通労働災害が急増したといわれています。暑さによる睡眠不足が疲労の蓄積となり、事故に直結したという関係者の分析です。

運送業界の健康支援を生きがいに



奇しくも6月は、居眠り運転が続発しました。8日、J R北海道・運転士の居眠り運転の発覚。15日、J R豊肥線での運転士の居眠り運転による3時のオーバーラン。大阪地下鉄でも27日に400以上のオーバーランが起きています。しかし、何とんでもトラック関係者を震撼させたのは、13日の名神高速道での居眠りを原因とした多重炎上事故ではないでしょうか。

■ 走行で3キのオーバーランと仮定) 熟睡していても、安全制装置により事故を回避できます。しかしトラックの場合は、今回のドライバーの供述通り、「一瞬の居眠り」が、あのような悲惨な大事故を起こしてしまうのです。

■ SASは意識もなくなる！

自分ではしっかり睡眠をとっているつもりでも、良質な睡眠が確保できないのが、睡眠時無呼吸症候群(SAS)です。この症状の特徴は、意識さえもなくなる深い眠りに突然陥ってしまうことです。飲酒運転を例える場合に「居眠り運転のような」とい言い方をし、SASの症状を「飲酒運転のような」と、双方に例え合うのですが、自分の意思でコントロールできない症状が出現してしまうSASのほうが、飲酒運転よ

りも怖いと言わざるを得ません。当法人の調査では、運送関係者のSAS確率は20%です。SAS者に暑さによる睡眠不足という二重リスクが襲い掛かる今年の夏、事故がこれ以上増えないように、睡眠対策をしっかり行わなければなりません。

■ SASスクリーニング検査をSAS対策には、全ト協が助成金事業として実施しているSASスクリーニング検査があります。当法人は全ト協の指定機関として全国の事業者の検査を実施していますが、事業そのものを知らないという事業者も未だ多く、安全対策として活用されていないのは残念と言わざるを得ません。

■ 良質な睡眠が命綱

先日、SASスクリーニング検査を受けたドライバーに重症のSASが見つかりました。検査後に「高血圧で超肥満体形(BMI35)の彼」が検査を受けるきっかけになったのが、車の全損事故であったことも判明しました。もう少し早く検査をしていれば…と悔やまれますが、すでにCPAP治療をスタートされたと同じ、今はむしろ安心しています。

大事故は決して対岸の火事ではありません。ぜひ早いタイミングでSAS検査をお受けください。

(次回6月30日号に掲載)

《全日本トラック協会・大阪府トラック協会
SAS検査受託機関》
NPO法人 大阪ヘルスケアネットワーク
普及推進機構(OCHIS)

理事 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>